

科目名 (科目番号)	産業保健 (時間割参照)	教員名 田中厚子	学科等	看護学科	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤	
授業概要	人口の6割を占める「働く人々」を対象に、健康で安全に働けるよう労働衛生行政、労働衛生管理について関係する法令・制度を概括する。さらに昨今の産業保健の健康課題、特に過重労働やメンタルヘルスについて事例をもとに学習し、職場における健康づくりの意義を学習し、産業看護職(保健師・看護師)の役割について理解を深める。						
目的・目標	目的 ①看護専門分野の一つとして産業看護分野があることを知る。 ②看護職自身が労働者として安全かつ健康に働くための労働安全衛生に関する視点をもつ。 目標 ①産業保健・産業看護は看護の専門性を発揮するよう基本的知識が理解できる。 ②看護職は針刺しや呼吸器感染症、腰痛等のリスクや、長時間労働、交代制勤務などの健康障害につながる要因が多数存在しているので、安全に健康で働くための知識が理解できる。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	産業保健の目的、産業保健の制度としくみ	到達目標:産業保健とは何かを理解し、その重要性について理解できる。 学習内容:産業保健の対象、産業看護活動について学習する。				
	2	産業保健・看護の理念と目的	到達目標:産業保健の理念と目的、産業看護職の役割、関連法規を理解する。 学習内容:産業保健・看護の定義、産業保健の関連法規について学習する。				
	3	産業保健の変遷と現状	到達目標:産業保健の歴史、変遷、現状を理解する。 学習内容:産業保健・看護の歴史、産業保健の現状について学習する。				
	4	今日的な産業保健における健康課題	到達目標:健康診断後の事後措置、過労死、過重労働の実態、職場のメンタルヘルス対策の方法を理解できる。 学習内容:定期健康診断の有所見率の現状・事後措置、労災の現状、メンタルヘルス対策の必要性・方法について学習する				
	5	産業看護活動の実際(1)	到達目標:業務上疾病で最多な災害性腰痛の予防対策を理解できる。 学習内容:保健・医療・福祉現場で働く介護、看護師の健康課題とその予防対策について学習する。				
	6	産業看護活動の実際(2)	到達目標:医療機関での安全衛生上の課題と職場巡視について理解する。 学習内容:職場巡視の意義、職場改善について学習する。				
	7	産業看護活動の実際(3)	到達目標:ストレス対策、職場復帰支援における看護職の役割を理解する。 学習内容:メンタルヘルス対策、職場復帰支援のポイントについて学習する。				
	8	産業看護活動の実際(4)	到達目標:職業生活と両立支援(子育て、介護、病気と治療)について理解する。 学習内容:女性労働者の現状、母性機能への健康支援、病気と治療の両立について学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(80%) + 課題レポート(20%)により評価する						
教科書	保健学講座 第3巻 公衆衛生看護活動展開論 第1版		岸 恵美子/村嶋幸代		メヂカルフレンド社		
参考図書	国民衛生の動向						
教員からのメッセージ	①新聞、ニュースや身近に働く人からの職場における課題(長時間労働、過労死、職場でのメンタルヘルス、労災事故等)について日頃から関心を持ち、産業保健、看護の学びを深めましょう。 ②産業保健師として 長年の経験を有する保健師がこの授業を担当します。						